

## 公民館使用料導入に係る収納方法検討について

	利便性	事務作業量	人件費	機器導入費・ランニングコスト	安全性	その他
①人的対応（対面） レジ方式	△	×	△	△	×	
主な理由	・対人により柔軟な対応	・現金受領（釣銭）、領収書等の対応 ・日々の収納事務が発生	・委託館における日中、夜間、土日祝の委託料の増加 ・直営館における夜間、土日祝の委託料の増加	・レジ導入コストは券売機に比べ安価（備品）	・夜間等の人員体制が課題となる。 ・現金取扱いにかかるリスク	
②ボタン券売機 （現金対応方式）	○	○	○	△	○	・料金設定により、低額紙幣対応機を想定
主な理由	・対人によらず団体利用者のみで支払いが完結 ・釣銭等のトラブルの軽減	・大きな事務作業等の追加なし ・誤購入等の対応が必要	・委託館における運営委託料の軽微な増額 ・全館における夜間、土日祝の委託料の軽微な増額	・導入コストは年間130万～＋消耗品（5館分リース）	・施錠して職員が保管することで、安全性を確保 ・1人態勢の場合は、防犯灯の設置等の安全対策が必要	・タッチパネル方式は、インシヤルコストやメンテナンス費用が高額のため、想定せず
③キャッシュレス	○	○	○	×	○	・電子マネー、QRコード決済で想定
主な理由	・利用者にとっては選択肢が広がる ・現金対応なし ・キャッシュレス世代に対応	・ボタン券売機と同様	・ボタン券売機と同様	・1件当たり2.25%～3.9%程度の手数料（変動あり） ・1台当たり登録手数料＋月額費用 ・回線使用料が発生（月額）	・釣銭の用意不要	・券売機先行導入後に追加設置も可能 ・クレジット対応の券売機導入が当初から必要で、価格は電子マネー等に比べ高め。また、導入手続きの期間も長い ・他市の状況によると利用率はそれほど高くない